

世羅町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

基本目標	重要業績指標 (KPI) (単位)		実績値							基準値 (R1)	単年度 実績値 (R6)	目標値 (R6)	目標達成率	評価
			R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7					
若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する														
生産年齢人口 【数値目標】	人	9000	7971	7827	7574	7416	7246	7063	7014	7,971	7,063	7,152	99%	B
基本施策 1														
創業者数	人	10 5 0	8 6 7	8 7	7 7	1 7	3 7	7	7	8	3	7	43%	C
基本施策 2														
認定新規就農者数 (産業創造大学卒業者で 認定した者)	人	4 3 2 1 0	2 2 1 1 0	2 2 1 1 0	2 2 1 1 0	2 2 1 1 0	2 2 1 1 0	2 2 1 1 0	2 2 1 1 0	2	1	2	50%	C
基本施策 3														
観光消費額	百万円	4000 2000 0	2652 1828 0	3700 1973 0	3700 2352 0	3800 2305 0	3900 2505 0	3900 2505 0	3900 2505 0	2,652	2,505	3,900	64%	C
世羅町の魅力と立地を活かし新たな人を呼び込む														
20歳～39歳の人口 【数値目標】	人	3000 2000 1000 0	2442 2324 0	2241 2362 0	2181 2322 0	2133 2282 0	2071 2242 0	2203 2203 0	2203 2203 0	2,442	2,071	2,242	92%	B
基本施策 1														
移住者数 (空き家バンクに限る)	人	30 15 0	18 21 0	22 25 0	24 14 0	26 7 0	28 13 0	30 0 0	30 0 0	18	13	28	46%	C
基本施策 2														
新築住宅戸数	戸	100 80 60 40 20 0	72 65 65 75 75 75	65 75 75 75 75 75	44 59 59 59 59 59	75 36 36 36 36 36	75 36 36 36 36 36	75 36 36 36 36 36	75 36 36 36 36 36	72	36	75	48%	C
結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を提供する														
合計特殊出生率 【数値目標】	人	2 1 0	1.88 1.20 0	1.20 1.88 0	1.20 1.88 0	1.21 1.88 0	1.06 1.88 0	1.10 1.88 0	1.10 1.88 0	1.88	1.10	1.88	59%	C
基本施策 1														
子育て世代包括支援 センターの利用人数	人	10000 8000 6000 4000 2000 0	5071 7180 0	7630 7500 0	8594 7550 0	8585 7550 0	7530 7500 0	7500 7500 0	7500 7500 0	5,071	7,530	7,500	100%	A
基本施策 2														
世羅高等学校入学者数	人	200 150 100 50	109 111 110 124 115 79	110 115 120 124 125 130	120 125 125 125 125 130	89 59 59 59 59 59	106 36 36 36 36 36	106 36 36 36 36 36	106 36 36 36 36 36	109	106	125	85%	B
質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する														
社会増減数 【数値目標】	人	0 -50 -100 -150	-43 -67 -122 -122 -46 -77 -70	-50 -50 -30 -24 -18 -11 -4	-50 -50 -30 -24 -18 -11 -4	-50 -50 -30 -24 -18 -11 -4	-50 -50 -30 -24 -18 -11 -4	-50 -50 -30 -24 -18 -11 -4	-43	-70	-11	16%	D	
基本施策 1														
ケーブルテレビの インターネット加入率	%	100 50 0	36.1 37.8 0	52.7 46 0	51 47 0	52.2 48 0	53.3 49 0	50 50 0	50 50 0	36.1	53.3	49	109%	A
基本施策 2														
せらまちタクシーの 利用者数	人	40000 30000 20000 10000	29214 24022 22650 27003 26086 26920	29490 27003 26086 26920	29779 27003 26086 26920	30068 26086 26920	30357 26920	30646 26920	30646 26920	29,214	26,920	30,357	89%	B
基本施策 3														
公立世羅中央病院 常勤医師数	人	30 20 10 0	14 13 13 16 14 16	13 13 13 14 14 16	16 14 14 14 14 16	16 14 14 14 14 16	16 14 14 14 14 16	16 14 14 14 14 16	16 14 14 14 14 16	14	14	16	88%	B
基本施策 4														
元気な地域づくり 応援事業実施件数	件	10 5 0	0 0 0	2 0 0	4 0 0	6 3 2	8 3 2	10 0 0	10 0 0	0	2	8	25%	D

基本目標Ⅰ 若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する

【基本的方向】

創業希望者や創業後間もない人たちの円滑な事業展開を促進するため、継続的な支援を行います。また、地域産業の活性化を図るために、商工会や金融機関と連携し地元事業者の支援や中小企業・小規模事業者の事業継承を促進します。雇用機会の創出にも努めます。併せて、本町の基幹産業である農業等の将来の世羅町を担う人材の育成や観光振興に力を入れることで、持続可能な地域の働く場の創出に努めます。



基本施策1 創業・事業継承支援、地元事業者支援による地域産業の競争力強化

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	創業者数							目標達成率	評価
【1. 創業の促進】 ① 新規創業助成金活用数：3件 ② 新規創業利子補給補助活用：7件 ③ 新規創業者：3件	1. 商工会と連携し、補助金・助成事業の継続により中小企業者への支援を行う。 2. 雇用の創出につながる投資に対する支援を行う。 3. 県内の関係機関で構成される「広島県事業継承ネットワーク」における事業を活用し、関係機関との連携や取組を強化。 4. ①企業立地支援を引き続き推進する。 ②「お試しオフィス」を活用し、企業誘致を進めていく。 ③企業紹介動画の掲載数を増加できるよう取組む。	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
【2. 地元事業者の支援】 ① 小規模企業支援事業：12件		10	8	8	7						
【3. 事業承継の支援】 ① 事業承継事業：0件 ②人材育成事業：30件		5	6	7	7	7	7	7	7	43%	C
【4. 雇用機会の創出】 ①企業立地促進事業：11件 ②お試しオフィス活用 視察件数：3件 活用件数：18件 ③紹介チャネル掲載事業者：3件		0	1	1	1	1	1	1	1		

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：3人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 創業の促進】 ●若い人の創業が多い。●創業の相談件数が多い。 ●既に事業を始めていて、後で補助制度を知ることもある。	1. 創業支援においては、創業者数だけでなく、事業の継続性を重視しています。商工会と連携し、専門的な指導や補助制度の活用を通じて、地域に根差した持続可能な創業を支援します。また、創業を志す方が事業開始前に支援制度を十分に把握できるよう、商工会と連携し、情報発信のさらなる強化に努めてまいります。
【2. 地元事業者の支援】 ●様々な支援策が県より先行して実施されていて良い。 ●生産性が上がる支援として、販売促進だけではなく持続化支援もある。	2. 多くの企業が商工会へ加入されていることから、人材育成や持続化支援など、商工会と一緒に取り組んでまいります。
【3. 事業承継の支援】 ●ネットワークによる情報共有により、マッチングを支援ができる。 ●支援の内容を知つてもらう手立てが必要。 ●事業内容が大変だと事業承継したくない人もいる。	3. 若者の転出や高齢化が進む中、事業承継は喫緊の課題となっています。承継を希望される方々に対しては、専門機関と連携し、円滑な事業承継を支援してまいります。
【4. 雇用機会の創出】 ●他市町へのアクセスは良いので、ベッドタウン的な取組みが良いのでは。 ●若い人の代わりに外国人をより確保しては。●若い働き手がない。	4. 若者の転出が多い現状を踏まえ、世羅高等学校における地元企業合同説明会の継続実施などを通じて、町内での雇用機会創出に積極的に努めてまいります。
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：2人 やや評価できる：6人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

・「県より先行して実施されていて良い」とは分野で言うと何か。 ・雇用機会の創出において、外国人の確保についてどう考えるか。 ・育成就労の特定技能になれば、都市部に流れるため人口確保が困難となる可能性がある。どういった形で外国人を選んでもらうのかが課題。	・持続化支援事業において、生産性向上等の取組を商工会と連携して実施しています。 ・中小企業側と働きたいとの間でアンマッチが起きている。まずは町内の企業周知を行っている。中小企業の希望もあるため、連携し協議してまいりたい。 ・外国人の確保については、各事業者において取組まれておられます。外国人人材のみならず、労働力確保は地域経済の維持に不可欠であると捉えており、労働力確保に向けた環境づくりに努力してまいります。
--	--

基本施策2 将来の世羅町を担う人材の育成

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	認定新規就農者数（産業創造大学卒業者で認定した者）							目標達成率	評価
【1. 農業の担い手の育成】 世羅産業創造大学卒業生で認定新規就農者：1人	1. 研修生の確保と研修後の就農支援、就農フェアへの参加、農業求人サイトや農業体験を通じ研修生の確保を行う。 2. 国の事業を活用し、就農時の資金確保等、早期経営安定化に向けた支援を行う。	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
【2. 6次産業の推進による人材の確保】 6次産業化支援件数：0件		4									
【3. 介護福祉人材の確保・育成】 紹介フェア参加：500人 福祉用具展示・体験フェアの参加者：約90人 介護福祉士実務者研修受講者：7人 介護職員への研修会参加者：48人	2. 地域で実施されるイベント、研修会等の活動支援、県等と連携し、サポート支援事業等の実施。 3. 事業所紹介フェア実施、介護福祉士実務者研修開催、介護人材定着のための研修会の開催、介護人材確保に向けたDVD等によるPR活動の強化。	3	2	2	2	2	2	2	2		
【4. 雇用機会の創出】		2	1	1	1	1	1	1	1		
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：3人 やや有効：1人 有効でない：0人	住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方	0	0	0	0	0	0	0	0		

【1. 農業の担い手の育成】 ●地元の営農法人との連携が取られていて担い手側も安心。 ●定住にこだわらず通い農や半農半X、退職後のリターンなどの違った視点も必要。 ●農業の担い手育成の取組みをもっと世羅町全体に知らせることが必要。	1. 引き続き集落法人等のニーズや今後の運営方針等の把握に努めるとともに、多様な担い手の参画を含め、農業の担い手育成に関する取組みの具体化を、農業振興ビジョンの見直しの中で図っていきます。また、その取り組みを町内外に積極的に発信していくよう努めます。
【2. 6次産業の推進による人材の確保】 ●インターンシップで関係人口として関わってもらった取組が大変良かった。 ●今まで長く続けてきた6次産業、人がつながり続けているところが良い。	2. 地域で実施されるイベントや研修会等の活動支援も継続し、地域内外の交流を促進することで、将来を担う人材の確保に繋げてまいります。
【3. 介護福祉人材の確保】 ●介護人材確保に向けたDVDの内容がすばらしかった。	3. 介護人材の確保に向けて、現在の取組の継続とあわせ、次世代の人材育成に向け、若年層に介護の仕事に关心を持てていただくため、介護の仕事の魅力や、やりがいを発信してまいります。
【4. 雇用機会の創出】 ●関係人口としてつながりを持ち将来リターンしてもらう。リターンした時には支援・補助が必要。 ●高校生、中学生へのPRが必要。	
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：4人 やや評価できる：4人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

意見なし	—
------	---

基本施策3 観光振興について

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	観光消費額							目標達成率	評価
【1. 観光振興の推進】 ①観光消費額：2,505百万円 ②入込観光客数：1,949千人	・新型コロナにより落ち込んだ観光客数と観光消費額は徐々に回復してきたが、各関係団体等との連携を深め、第2期世羅町観光振興基本計画に掲げる4つの施策を推進していく。 ・世羅町観光振興補助事業を行い、イベント補助金、インバウンド対策事業補助金など、町内観光事業者に対する支援を実施する。インバウンド対策としては、台湾、韓国を中心とした東アジア圏からの誘客に係るPR活動などの施策を実施する。	(単位) 百万円	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
		4000	2652	3700	3700	3800	3900	3900			
		2000	1828	1973	2352	2305	2505				
		0									
住民											

基本目標II 世羅町の魅力を活かし、若い世代を中心とした移住・定住を推進する

【基本的方向】		数値目標		20歳～39歳の人口						
(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価	
3000	2442	2324	2241	2181	2133	2071				
2000										
1000										
0										

【総合戦略評価・意見】評価できる：1人 やや評価できる：7人 評価できない：0人
移住定住において、問合せ件数は多く、なぜ選ばれなかったのかの分析が必要。

基本施策1 移住定住に関する総合的な支援

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI）	移住者数（空き家バンクに限る）						
(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
30									
15	18	21	25	22	24	26	28	30	
0									

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：6人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. ニーズに応じた移住定住支援】 ①空き家購入支援件数：6件 ②空き家バンク新規物件登録件数：21件 ③若年者遠距離通勤助成件数：44件 【2. 移住者への情報発信の拡充】 移住相談件数：154件 【3. 事前体験する機会の創出】 ①お試し暮らし利用回数：11回 ②移住体験プログラム実施件数：4件 【4. 関係人口の創出】 ①関係人口創出事業参加者数：5人 ②地域おこし協力隊任用人数：1人	1. 固定資産税納付書送付用封筒の告知文の印刷やサロン・出張空き家バンク相談会での制度周知を図る。また、他自治体の支援事例など情報収集に努める。 2. 広島県や広域連携で立ち上げているFacebook等のSNSを積極的に活用し、世羅町の情報を細やかに発信する。また、移住定住情報パンフレットの刷新を行う。 3. 空き家情報など、自治組織と密に連携を図る。 4. 世羅町移住・交流促進協議会を中心に、関係人口創出に向け、広島県の事業を活用しつつ、世羅高校とも連携した事業を企画し、実践する。	1. 自治センターで開催されているサロン活動において、出張空き家バンク相談会などを行い制度の説明など広報活動を行っています。空き家バンク制度が広く周知されるよう、町内自治センターをはじめ、様々な機会を通じて広報に努めます。 2. これからも移住者の方々にご協力いただき、世羅町の魅力を発信できるよう取組んでまいります。VR内見については、家財が多く残ったままの物件が多いことから、今後の検討課題とします。 3. お試し暮らしや移住体験プログラムについては、具体的な世羅町での生活がイメージできることから、移住後の満足度を高めるためにも可能な限り実施に努めます。 4. 関係人口の創出について、世羅高等学校及び里山ウェーブ参加者と連携して「せらたび」を企画・実施を図ります。また、大見自治センターを拠点に関係人口創出を目的とした交流支援活動を行うため、地域おこし協力隊の募集を行います。
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：0人 やや評価できる：8人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方	
・過去3年の移住者数の減少理由は。 ・移住の決め手となるのは、どのようなことか。 ・移住者を増やすための取組内容は。	・コロナ禍であった。20代は具体的なビジョンを持っているが、50代は移住するまでにある程度検討され時間を要すため。(R6相談件数154件) ・決め手は、丁寧な相談対応や、移住場所の近所の方の人柄など、一概には言えない。 ・移住希望者が思い描く地域とのマッチング。	

基本施策2 快適な住環境の整備

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI）	新築住宅戸数						
(単位) 戸	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
100	72								
80	65	65	75	75	75	75	75		
60									
40									
20									
0									

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：6人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 快適な住環境の整備】 ①住宅リフォーム補助事業利用件数：45件 ②飲用水施設整備補助件数：12件 ③合併処理浄化槽設置基数：23件	①住宅リフォーム補助事業を継続し、利用状況に応じた柔軟な予算措置を行う。 ②引き続き飲用水施設整備補助の継続をする。 ③国、県の補助基準額に加え、町独自の補助金額の上乗せ及び国・県の補助対象外である新築家屋に対する補助金交付を継続する。汲み取り及び単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽設置を重点的に推進する。	1. 移住定住者の快適な住環境整備が支援できるよう事業を継続してまいります。リフォーム補助金について、補助率・補助上限額の引き上げ予定はございませんが、すべての利用希望者が当該年度に補助制度を利用できるよう、予算の確保につとめております。
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：0人 やや評価できる：8人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方	
意見なし	—	

※住民ワーキング会議からの意見

数値目標・重要業績目標（KPI） 評価 A 100%～ B～99% C～69% D～29%

青字 プラス評価 赤字 マイナス評価 黒字 その他

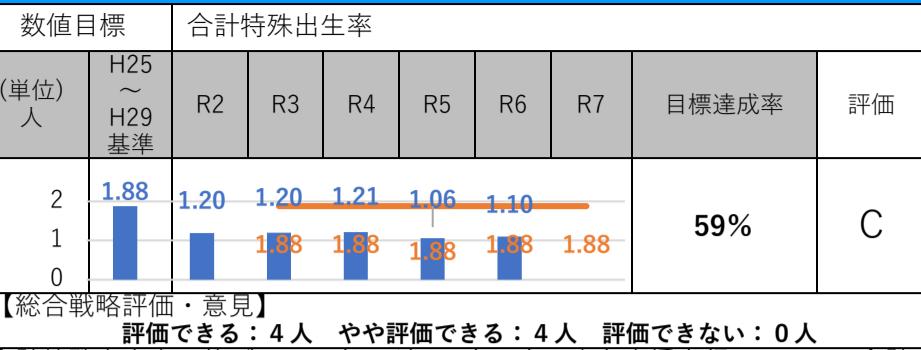
実績値

目標値

基本目標III 結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を整備する

【基本的方向】

結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的支援体制による、子供を安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、保育料や医療費の助成により、子育てに要する経済的負担軽減を行い、子育てがしやすいまちづくりを推進します。さらに、学習環境の支援を行うとともに、奨学金を返還する若年層への支援により、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組みます。



基本施策1 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的な支援の提供

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	子育て世代包括支援センターの利用人数						
(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
10000									
8000									
6000									
4000									
2000									
0									
5071		7180	7630	8594	8585	7530			
5071		7500	7550	7550	7500	7500			

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：5人 やや有効：0人 有効でない：0人

- 【1. 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】
 - 「せらはぐ」や「子育て広場」で行う内容が、話すキッカケになり体験ものや一緒にできるものなどがあるのは良い。
 - 世羅町へ移住した人や、就職された人へ助成金を交付しても良いのでは。
 - 子育て支援課の窓口が施設の奥で行きにくい。
- 【2. 保護者などの主体的な子育てへの支援の充実】
 - 今年改修予定の母子モのアプリで参加申込ができるようになるのは助かる。
 - 「せらはぐ」のイベントに参加してくれる人が増えた。
 - 話をするキッカケがあると仲間づくりにもつながるので子育て広場を続けてほしい。
- 【3. 乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】
 - 保育施設に子どもを預けられることで、就労でき、子どもの成長が促される安心感がある。
 - 18歳までの医療費助成は、高校生まで利用でき、500円なのはとてもいい。
 - 世羅中央病院の小児科の医師が毎回違うのが残念で、同じ事を何度もいうことになる。
- 【4. 子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】
 - 世羅小の放課後児童クラブは体育館などで、夏休みに楽しく遊ぶことができた。
 - 放課後児童クラブは、小学6年生までの受け入れはありがたい。
 - 放課後児童クラブの要件が、同居の祖父母も働いていないと利用できなく残念。（父母のみの要件で良いのでは）

- 1. ①②今後も切れ目のない支援のため、妊娠時からの関係性の構築を図り情報提供等継続して行います。また、子育て支援課の窓口に行きやすい環境整備に努めます。③移住者に対する住居の新築、空き家・空き地購入への助成、また、町内に居住する若年者への遠距離通勤に関する助成を行っています。移住定住に繋がる支援策を検討します。
- 2. ①子育て親子が交流できる広場を継続実施し、子育て親子の交流、子育て等の相談支援に努めます。
 ②母子モの機能拡充を行い、情報提供だけでなく広場等の参加申込みがアプリから行うことができるようになります等、保護者の負担軽減を図ります。
- 3. ①乳幼児医療費及びこども医療費助成制度を今後も継続して行います。
 ②保育料（0～2歳児）無償化を継続実施し、子育て家庭への負担軽減の支援に努めます。
 公立世羅中央病院の小児科については常勤医師確保のため、ふるさと枠医師の配置希望を広島県地域医療支援センターに継続して行います。
- 4. ②放課後児童クラブ利用の要件は、保護者が就労等により昼間家庭にいる児童に対して行っているものであり、申立による条件により利用を認めております。また、継続して支援の質の維持向上に努めます。

総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：8人 やや評価できる：0人 評価できない：0人

- ・施策内容は毎年評価が高い。
- ・世羅町は、子育て世帯への補助金が手厚いだけでなく、必要な手続きが沢山あっても、丁寧な案内がありスムーズにできる。子育て相談にも丁寧に対応してくれる。
- ・施策内容ではなく、質が重要であり、世羅町は1歩抜き出ている。
- ・合計特殊出生率が令和に入リシビアな状況であるが、数値の見解や、今後の施策の展開は。

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

- ・合計特殊出生率は、若い方の出生率が低下している。まずは結婚への取組も大事である。一人一人が健やかに成長することを支援するため、成長段階に応じた取り組みを行う。

基本施策2 将来を担う若年世代の人材育成

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	世羅高等学校入学者数						
(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
200									
150	109	111	124	110	115	120	125	130	
100									
50									
79									
89									
106									

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：4人 有効でない：0人

- 【1. 学習支援の促進】
 - 1人1台端末機は、誰でも使えるので素晴らしい施策。
 - 将来Uターンするように児童生徒へ取組みが必要。
 - 電子図書を必要としている人は、自分自身で他のサービスを利用しており、町独自の電子図書館は必要ない。
- 【2. 世羅高等学校における学習環境の支援】
 - 世羅高等学校への支援に関しては良いものばかり。
 - 世羅高等学校への支援内容について、町からの周知も必要。
 - 町からもこの支援により、どれだけ入学者が増えたか把握が必要。
- 【3. 奨学金の支援による若年層の人材確保】
 - 町が独自の制度を作った方が良い。
 - 制度のハードルが高いため対象となる企業が無い。

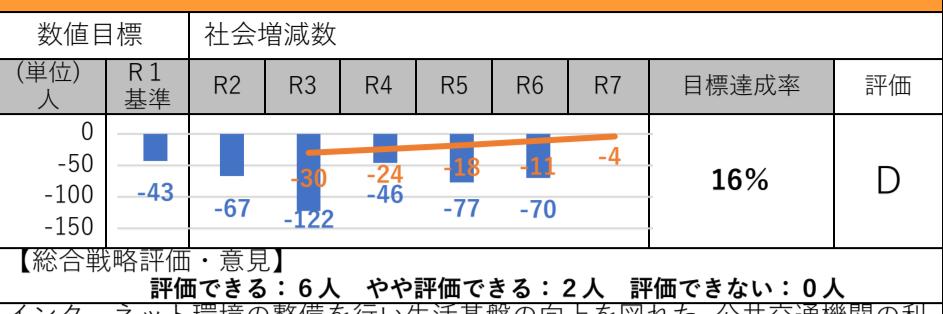
- 1. ①引き続き、1人1台端末による学習支援を行うとともに、より効果的な活用ができるよう取組みます。地域の特色を生かした「ふるさと学習」において郷土への誇りをもった人材を育てます。
 ②図書館機能の充実を図るために、その要素の一つとして研究及び検討を継続します。
- 2. 支援内容について、近隣自治体の取組みを参考に世羅高等学校と連携しプラットフォームアップを図ります。周知について、これまで世羅高等学校を通して進路説明会・オープンスクール等で行っていましたが、今後、町のホームページや広報誌等でも周知を図ります。取組成績についても、アンケート等により把握に努めます。
- 3. 事業者が若年者を中心とした人材の確保が出来るよう、引き続き周知を行うとともに、より有効な制度の検討を行ってまいります。

総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：2人 やや評価できる：6人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方
・様々な学習環境の支援等を行い、世羅高の良さを伝えている。 ・入学者数が徐々に伸びており、中山間の厳しい地域であるが健闘されている。 ・世羅高入学者数 R4年度に落ち込んだ要因は。 ・入学者数の町内外の割合の傾向は。 ・公共交通による通学手段は何か。	・R4の入学者の落ち込みは、町外中学校からの入学者が大幅に減少した。特に大和中学校からの入学が少なかったが、原因は不明。 ・R6実績は、106名のうち、町内61名、町外45名で、概ね6割が町内中学校からの入学者数である。町内中学校の卒業生の内、概ね半数が入学している。 ・世羅西地区の生徒は、主に朝1便夕方2便のせらまちタクシーを利用しておらず、近年は世羅西地区からの入学者も増えている。大見地区は路線バスが1路線、町外からは路線バス（高速バス）4路線で通学している。

基本目標IV 質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する

【基本的方向】

住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、高速大容量の通信網を整備し、ICTによる地域課題解決・地域活性化の実現を図ります。また、交通ネットワーク及び医療体制の充実を図ります。さらに、住民が主体となった地域課題の解決や地域活性化に資する取り組みを支援することで、協働のまちづくりを推進します。



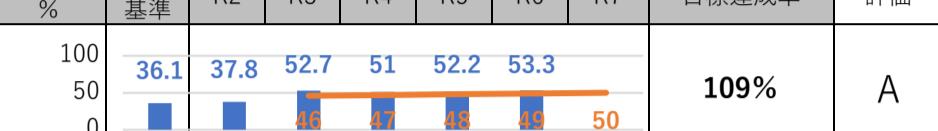
【総合戦略評価・意見】

評価できる：6人 やや評価できる：2人 評価できない：0人

インターネット環境の整備を行い生活基盤の向上を図れた。公共交通機関の利用券電子化を進めることで便利になる。

基本施策1 情報通信基盤の整備

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI) ケーブルテレビのインターネット加入率									
【1. 情報通信基盤の整備】 ケーブルテレビのインターネット加入率：53.3%	・加入率向上のため、より一層の周知に努める。	(単位) %	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価



住民ワーキング会議からの意見評価 有効：1人 やや有効：1人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 情報通信基盤の整備】

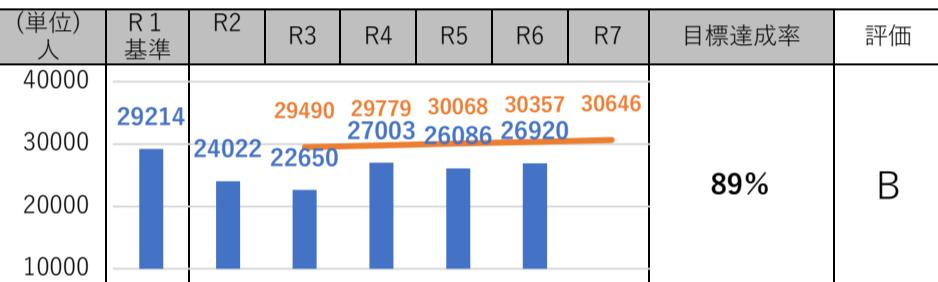
- ケーブルテレビの加入率が目標値よりも高い。
- 将来的にはスターリンク等の衛星通信インターネットの市場拡大に任せても良いのでは。
- 中心部以外はケーブルテレビしか来ていない。

1. ケーブルテレビのインターネットに加入することで得られるメリットについて、運営事業者と協働してPRに努め、加入者増を図っていきます。また、衛星を経由したインターネット通信については、家庭用として普及するまで一定の時間を要すると想定でき、それまでは光ファイバー網を基盤としたインターネット通信環境を維持していく必要があるものと考えています。

総合戦略推進会議意見・評価	評価できる：8人 やや評価できる：0人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方
・若い世代や起業するような方にどのような影響があったか。	・インターネット環境の向上ができ、加入率が増えた。企業より環境整備ができたと伺った。 ・企業より、送受信に掛かる時間が短くなり助かったと聞いている。	

基本施策2 地域公共交通ネットワークの充実

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI) せらまちタクシーの利用者数									
【1. 地域公共交通ネットワークの充実】 ・せらまちタクシーの利用者数：26,920人 ・乗車説明会：1回6人（乗車体験4人参加） ・町広報誌による周知（せら便）：4回掲載	・せらまちタクシーの利用促進を図るため、広報せら等で継続的に周知を行う。また、新規利用者を確保するため、説明会や乗車体験会を継続実施する。高齢者・学生・外国人などに対応した利用促進に取組む。 ・せらまちタクシーの運行見直し（ダイヤ・料金改定）や利用券の電子化を行う。 ・バス事業者との連携や支援により、路線バスや高速バスの維持を図る。 ・福塩線沿線市町連携による利用促進を図る。	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価



住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：0人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 地域公共交通ネットワークの充実】

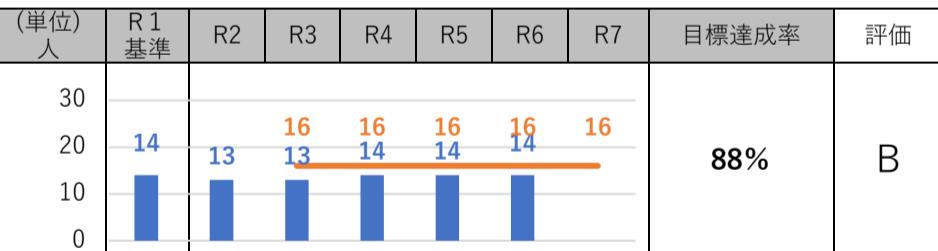
- せらまちタクシーの運転手の対応等の評判が良くなかった。町からの補助があって良い。
- せらまちタクシーの運行状況が、自治センターや病院で見られたら良い。
- せらまちタクシーの便をもう少し増やしてほしいという声もある。

1. せらまちタクシーは令和7年度に運行見直しを行っており、利便性の向上を図るためにダイヤの改正等を行う予定としております。運行状況の確認については、更なる利便性の向上のための機能拡充について、検討を行ってまいります。

総合戦略推進会議意見・評価	評価できる：6人 やや評価できる：2人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方
・せらまちタクシー利用券の電子化について便利でよい。 ・一律に電子化なのか、希望者のみ電子化にするのか。 ・免許返納した方も多く利用しているため、手続きを伝わりやすくしてもらいたい。	・電子化をしつつ、利用券も残し並行的に取り組む。 ・希望者のみ電子化を活用できる。 ・利用者に手続き内容などが分かりやすく伝わるよう広報等で周知を行う。	

基本施策3 医療体制の充実

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI) 公立世羅中央病院常勤医師数									
【1. 医療体制の充実】 ①オンライン診療実施医療機関数：1件 ②公立世羅中央病院常勤医師数：14人（R6.4.1時点）	・救急相談センター事業（#7119）や子育て世帯向けアプリ「いつでもドクター」の利用により、安心・安全を住民に提供するとともに、救急搬送件数や医療機関への問合せ件数を削減し、救急車の適正利用や救急医療機関受診の適正化を図る。 ・安定した医療サービスの提供を継続していくため、公立世羅中央病院の人員確保や施設整備の取組への支援を継続的に行う。	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価



住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：0人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 医療体制の充実】

- #7119は、ありがたい。
- 24時間365日とりあえず話せる相談ができるのはとても良い。（特に一人暮らしの高齢者）
- いつでもドクターは期待している良い取組み。対象が高校生まで広がってほしい。
- 公立世羅中央病院は診療科によっては、毎日ではなく曜日が限定されている。

1. 24時間365日、誰でも利用できる救急相談センター事業（#7119）や中学生までの子どもがいる世帯向けのアプリ「どこでもドクター」の利用促進のため、これらの事業の周知を図ります。
2. 公立世羅中央病院が安定した医療サービスの提供が継続できるよう、必要な取組への支援を継続します。

総合戦略推進会議意見・評価	評価できる：8人 やや評価できる：0人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え方
意見なし	—	—

基本施策4 元気な地域づくりの推進

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI) 元気な地域づくり応援事業実施件数						
【1. 元気な地域づくりの推進】 令和6年度助成件数：2件 【事業費】1,833,968円、補助額：1,550,000円（うち、ふるさと納税：1,550,000円） (令和6年度は、令和7年度に実施するプロジェクトを募集したところ5件の応募があり、そのうち4件を採択し、寄付を募った結果4件とも成立した。 【事業（補助）予定額】3,980,000円、うち、ふるさと納税：3,365,000								